

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第26号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年4月13日 05時30分ごろ	
発生場所	秋田県男鹿市戸賀港内 戸賀港南消波堤灯台から真方位056°660m 付近 (北緯39°57.31' 東経139°42.84')	
事故等調査の経過	平成22年4月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第五^{たか}隆丸、1.1トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AT3-6363（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士、特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船外機濡損、揚網機一部損傷</p>	
事故等の経過	本船は、船長が単独で乗り組み、戸賀港内でなまこ刺し網を揚網中、強風で船体が右舷側に傾斜したとき、大量の海水が船内に流入して大傾斜し、平成22年4月13日05時30分ごろ、そのまま右舷側に転覆した。	
気象・海象	<p>気象： 天気 曇り、風向 東南東、風速 約7.0m/s、</p> <p>事故当日、事故発生場所から東南東約20kmの男鹿地域気象観測では、05時30分～40分に最大瞬間風速13.4m/s が観測されていた。</p> <p>事故発生場所付近には強風波浪注意報が発表されていた。</p> <p>海象： 波高 約50cm</p>	
その他の事項	本船船首から約1m右舷側に揚網機が装備されている。 船長は、揚網機の傍に立って揚網を行っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、戸賀港内で揚網中、強風で船体が右舷側に傾斜し、大量の海水が船内に流入したため、転覆したものと考えられる。</p> <p>船長は、気象情報を入手しないで出港した可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、戸賀港内で揚網中、強風で船体が右舷側に傾斜し、大量の海水が船内に流入したため、転覆したことにより発生したものと考えられる。	